

地域商店街の活性化案提言に向けての支援

住所	岩手県八幡平市大更35-63-85	資本金	-
代表者	会長 高橋 富一((有)陣川建設)	会員数	
設立	平成18年4月(西根、松尾、安代の三商工会合併)	売上高	-
業種	地域商工団体		
TEL	0195-76-2040	URL	http://www.shokokai.com/hachimantai/

事業概要

- ・西根町、松尾村、安代町の3町村の合併により、八幡平市が誕生(平成17年9月)。
- ・これに伴い、3町村の各商工会が合併、八幡平市商工会が設立。



- ・八幡平市には、八幡平、岩手山、安比高原、七時雨などの自然豊かな大パノラマが展開。
- ・日本百名山の一つ岩手山は、別名「南部富士」と呼ばれる。
- ・安比高原スキー場をはじめとした、スキー場が数多く点在し、冬場はスキー客でにぎわう。



安比高原



八幡平の樹水



焼走り溶岩流(岩手山)



松川溪谷の紅葉



田代平高原

復興に向けた状況や課題

- ・地域内資金循環等新事業開発検討事業(中小企業庁補助事業)が採択(平成26年7月)。

地域商店街としての、大更(おおぶけ)商店街の未来づくり勉強会を開催するにあたり、専門家の知見が不可欠。

※「地域内資金循環等新事業開発検討事業」: 地域の現状に即した新たな事業を生み出すために、研修・勉強会を通じた検討を行う取り組み(商工会、商工会議所が実施主体)に対して補助。全国商工会連合会が募集。



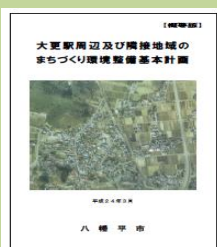
支援テーマと内容

大更商店街未来づくり委員会(勉強会)に専門家として出席し、活発な意見交換・議論を引き出し、会議の流れを整理し将来の方向性を導いていく。

市の主導による道路建設、再区画整備などによる活性化案(写真下)に対して、商店街(主に若い世代の事業主)としての提言を可能とするための案を形成、意思統一できるように整理し、誘導する役割を果たす。



大更商店街の12月イルミネーション



現在の大更駅



現在の大更商店街



支援の成果

1. 八幡平市より市の構想説明の聴講
 2. 震災復興支援アドバイザーより現状商店街の講義
 3. 当商店街に係る課題の整理
- 観光の目玉施設の設置、町全体のコンセプト作りの必要性
4. 事例研究(先進事例として御殿場市を視察←視察ポイントの事前レクチャー実施)
 5. 今後の方針について
- 接客サービス、人的サービスのソフト事業の強化の認識
- 大手企業、市町村等の自治体との連携推進等。並行的に自立した取組を実施する

今後の事業展開

- ・調査研究事業として、地域の高齢者に対するニーズ調査を実施
 - ・主要な購買層である地域の30代～40代の女性を対象とした意見交換会を町ぐるみで実施。
 - ・商店主の定期的な会合を設けて、意見交換会を実施。八幡平市内商店街のビジョンを策定。
- 市や、関係省庁に働きかける事により、能動的な改革を実施する。

商工会からのコメント

今回、震災復興支援アドバイザーには、「大更商店街未来づくり委員会」に中立的立場のもと将来の方向性を導き出すためご参加いただきました。第3者の立場の方の目線によるご意見という事で、地元の見方とは違った意見を頂戴でき、非常に勉強かつ刺激になりました。

八幡平市は現在過疎化に直面しており、今回参加した委員のメンバーは危機感があり、八幡平市を思う気持ちは皆一緒です。その思いはアドバイザーとも共有できたのではと思います。共に地域を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともご指導の程よろしくお願いたします。

震災復興支援アドバイザーからのコメント

今回の地域商店街の支援にあたっては、事業者自ら主体性をもって考えていただき、意見を引き出し、誘導することで、成果に結びつけることとしました。

委員会は受講した委員が積極的に意見を挙げて、自由闊達に意見交換を行う事により、八幡平市の将来を検討する良い機会になったと思います。

また、先進地視察では前向きに取り組んでいる姿勢を感じ取ることができ、参加者にとって有意義な機会になったと思われます。今回学んだことを深く考えて、さらに意見交換と情報収集を重ねることで、今回の検討事項が実を結ぶことと思います。

八幡平市の未来を真剣に検討し議論する場として、今後とも本委員会を継続していく事を期待いたします。



震災復興支援アドバイザー
中小企業診断士 渡辺 進也

